

アイデアデザインシート（記入イメージ）

※2月7日(金)までに、市へメールにて提出をお願いします。

01 テーマについて

北本市の「これから」を構想するために、現在の課題を説明します。

政策 「4 快適で安心・安全なまち」 豊かな住環境の整備

「未来のあるべき姿」

人と自然（生態系）との共生社会 ～街並みの”見た目”を変える～

- ・ 自然資本の持続可能な利用を通して、人と保全された生態系とが共生した住環境
- ・ 市街地に広がる自然と住宅とが調和した景観

地域の特色

- 自然生態系が保全された環境があること
 - ・ 北本自然観察公園 ・ 市街地に広がる雑木林
- 生態系保全に取り組む多くの市民団体・NPOの存在
- 大きなビル・建物が少ないこと
- 相当の強度を期待できる自然堆積したローム土(関東ローム層)に覆われた市域であること

地域課題

- ・ 雑木林が減少し、生物多様性が失われてきていること
- ・ 市街地に豊かな雑木林がありながらも、統一感のない、自然と住宅とが調和していない街並みが広がってきていること
- ・ 豊かな自然環境や災害等への強度がある土地、との市内外の認知度が低いこと
- ・ 雑木林が住民にとって身近なコミュニティの場となり得ていないこと

背景 都市特性、外部環境...

- ・ ベッドタウンとして発達し、サラリーマン世帯が多い
- ・ ”超”個人主義的な住宅建築事情
- 他との調和が図られていない住宅が多い

02 アイデンティティを深める

「未来のあるべき姿」に向けて課題を解決するアイデアの「らしさ」を深めましょう。

やりたいこと ビジネスの手法を用いて...

～自然と住まいをつなげること～

- ・市街地の雑木林隣接地への住宅開発
- ・CO₂を排出しない木造住宅の整備
- ・住宅地内に木材を使った遊具の設置
- ・自然観察公園までのフットパスの整備
- ・住民自らの手で、自然に手を入れながら居住環境を良くしていくこと



求められていること



- ・人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセス
- ・気候関連災害や自然災害に対する強靱性の強化
- ・温室効果ガスの排出削減
- ・森林等をはじめとする陸域生態系の保全及び持続可能な利用
- ・自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止
- ・知識、専門的知見及び技術を活用し、持続可能な開発のためのパートナーシップの強化

どんな価値を提供するのか

- ・雑木林を、ヨーロッパの市街地広場や教会のようなコミュニティの場に
～何かあれば（イベント等）集まれる場、家から歩いていける身近な存在に～
- ・住宅地と雑木林のなかを、子どもたちが自由に遊びまわれる環境
- ・住民自らの手で雑木林、自然を活用した”まち”をつくっていきける
- ・自宅から歩いて行ける場所での森林浴

アイデアの「らしさ」 特徴...

- ・居住者が「共用部分（雑木林等）」の手入れを行い、自然と共生した（自然を活用した）まちを、自らの手でつくっていきけること

03 これからどうなるかを構想する

アイデアの「らしさ」を実現するため、そのモデルを整理しましょう。



ターゲット像 年齢、性別、趣味嗜好...

豊富な自然に囲まれた住環境で、
子育てをしたい20～40歳代の家族

+αで必要な資源 ヒト、モノ、お金、技術...

- ・ものづくり大学の技術
- 古材等を使用した子ども用・大人用の”自然の遊具”の設置
- ・北本の自然や、市街地の雑木林にマッチした住宅をデザインするデザイナー
- ・雑木林をつくる、再生する林業従事者

資源の調達方法 調達資金、企業、NPO...

- ・市内に増加しつつある空き家を解体した際に得られる古材の引き取り、マッチング制度の構築
- ・自然とまちとの調和を考えた住宅開発を考えるハウスメーカー等への市からの売り込み

今後の課題 認知度...

- ・「自然と調和した住環境」を整備するために、建築する住宅の素材、壁の色を制限する”美の基準”のような住民が共有できる価値をつくること

課題の解決方法

- ・住民の美意識を涵養するため、自然とまちとが調和したビジュアルイメージの発出
- ・”美の基準”をつくる